



自然災害に備える1

実施内容

気候変動によりますます重要性を増している災害リスクへの対応について学ぶとともに、災害への備えにもなる地域のつながりの重要性について理解してもらい、自然災害への適応について考えます。

POINT

- ・気候変動の影響の最新情報や、共助による防災力向上のお話。
- ・ペットボトルなど身近なものを活用した災害への備えの展示や解説。
- ・自治体からのハザードマップの紹介など。

留意点

- ・災害時に困ることの気づきを与え、日ごろから何を備えておくべきか、主体的に考えてもらうことが重要。
- ・自助の有効な方法を学ぶとともに、共助として地域のつながりを形成する具体的な方法を伝える工夫が大切。



平均所要時間

2時間

定員

50名程度

準備物

災害に備えるグッズの展示
スペース、セミナー備品一式

実施団体

自治体



▲ペットボトルやポリ袋をかぶせて懐中電灯をうまく使おう!

*ハンドブックP16,21もご覧ください

自然災害に備える2

実施内容

沿岸地域における気候変動の影響のセミナー、災害時に室内外で簡易な履物として活用できる新聞紙スリッパづくり、災害時を想定したワークショップを通して、温暖化の影響とその適応について考えます。

POINT

- ・気候変動の影響に関する最新情報を学びます。
- ・災害時を想定した時系列の行動予測及びその時に求められる行動について学びます。
- ・具体的な災害への備えを知ってもらいます。

留意点

- ・時系列での行動を予測することによって、備えが足りていない部分、知識が不足している部分などに気づきを与えることが重要。
- ・ワークショップでは大まかな予測ではなく、できる限り具体的に詳細に考えることが重要。



平均所要時間

2時間

定員

40名程度

準備物

災害に備えるグッズの展示
スペース、セミナー備品一式

実施団体

自治体



▲その時あなたはどうしますか?災害時の状況を時系列で考えるツール(目黒巻)を使ったワークショップ

*ハンドブックP16,21,22もご覧ください

自然災害に備える3

実施内容

災害への備えを学ぶイベント(展示、クイズ、ワークショップなど)

①展示「災害に備えよう!」

非常持ち出し品、非常食、非常用トイレはじめ、アイデアいっぱいの、灯りや調理法などを展示と解説でご紹介

②ワークショップ

- ・「そのとき、あなたはどうしますか?」 災害時のシミュレーションワーク
- ・新聞紙ワーク テントを作ろう! ブルーシートで作る寝袋
- ・スナック菓子で非常食
- ・新聞紙ワーク スリッパを作ろう!
- ・ふろしきを活用しよう!

③クイズ

- ・クイズで考える災害への備え
- 警報の種別、避難の際に気をつけることなどをクイズと回答でご紹介など

POINT

気軽に参加できるイベント形式で気候変動による自然災害への影響に対する適応について学びます。

留意点

- ・イベントプログラムが多岐にわたるため、開催の打ち合わせから運営まで、計画的に進めることが必要。
- ・多くの方、また幅広い年齢層に参加いただけるよう様々な広報ツールを活用し、広く周知することが重要。



平均所要時間

6時間
(時間内自由参加)

定員

200名程度

準備物

イベント開催一式
会場、掲示、備品、出展や
ワークショップのスペースや
必要品、運営スタッフなど

実施団体

自治体



▲レジャーシートで作る寝袋

▲新聞紙を骨組みにするテント



平均所要時間

2時間

定員

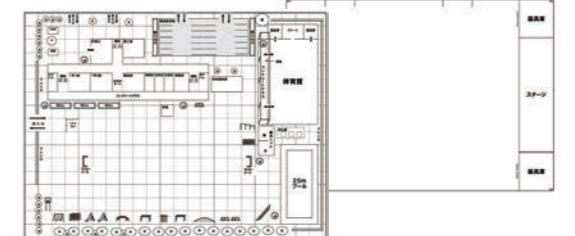
20名程度

準備物

オンラインセミナー準備一式、
ワークシート(何らかの方法で
参加者の手元にプリントアウト
用意できるようにする)

実施団体

自治体



▲オンラインでの避難所運営ゲームHUGワークシート
通路づくりに始まり、避難してきた住民の配置や、トイレの場所決め、救援物資受け入れ場所などを記入していく

*ハンドブックP16,21もご覧ください

留意点

- ・本来グループワークで行うワークショップをオンラインで開催するため、わかりやすい説明が必要。
- ・予めワークシートをデータで提供してプリントアウトしてもらうなどの準備が必要。
- ・災害時に困ることを、実例をあげて想起させる工夫が重要。